

きりゅう

平成29年 8月 1日

No.251

市議会だより



お知らせ

◆次回定例会の開催予定は…

8月29日(火)です。

市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部(要旨)を掲載しています。詳しくは、図書館で会議録をご覧ください。

なお、会議録は桐生市ホームページからでもご覧いただけます。



表紙 まちづくり討論会で活発に意見を述べる桐生大学生

平成29年第2回定例会は、6月12日(月)に招集され、6月30日(金)までの19日間の会期で開かれました。



- まちづくり討論会 ……………P2
- 桐生市議会 全国 17位 ……………P3

桐生市議会は、いちばん身近な頼れる議会を目指して議会改革に取り組んでいます。

桐生大学生とまちづくり討論会を開催!!

桐生市議会では、議会基本条例に基づき、積極的な市民協議の場を開設することを目的として、まちづくり討論会を実施しています。

今回は、桐生大学の学生 21 人と議員 22 人が地域の現状や課題等について語り合う討論会が、6 月 23 日（金）に桐生大学キャンパスで開催されました。

たくさんの貴重なご意見や要望をいただくことができましたので、今後のまちづくりに生かしていきたいと思えます。



大学生が思っていること…

議員 Q. 大学を卒業後、地元で働きますか？その理由は？

学生 A. ●保健師として市役所で地域の方を対象に保健活動をしていきたい。
●市外出身だが、人も優しく環境も良いので、桐生市で働きたい。
●東京の専門学校に行き、その後、帰って来て起業したい。

議員 Q. この地域の良いところ、悪いところは？

学生 A. ○…お年寄りの活動や意識が盛んであり、高齢者の住みやすいまち。駅から近いところに高校などが多い。伝統を大切にしている。電車の路線がたくさんある。桐生八木節まつりの盛り上がり。
×…外灯が少なく危ない。まちなかにおしゃれな店が増えてきたが、まだまだシャッター街。最低限の物は買えるが、商店街などの活気がない。バスや電車の本数が少なく終電も早い。交通の便が悪い。本町など駐車場が少ない。ショッピングモールがないので遊びに行きづらい。

議員 Q. どのような取り組みがあれば政治や市議会に対して興味を持てますか？

学生 A. ●議員がどのような取り組みをしているか若い世代にはわからない。議会だよりのほか、SNSでもう少し活動を発信するといいいのではないか。
●選挙のときなど、難しい言葉が多いので、もっとわかりやすくするのもいいのではないか。



第21回議会報告会・意見交換会のお知らせ

日時 平成29年8月22日(火)
午後6時30分～午後7時40分

場所 北公民館

参加いただいた
桐生大学生の皆さま
大変ありがとうございました。



「議会改革度調査2016」ランキング 桐生市議会全国17位

全国の地方議会の議会改革度を調査する早稲田大学マニフェスト研究所の「議会改革度調査2016」において、桐生市議会が全国で17位にランクインしました。

この調査は、早稲田大学マニフェスト研究所が日本全国の都道府県議会・市区町村議会を対象に2010年から実施しているもので、今回で7回目になります。議会が果たすべき役割として3つの柱、(1)情報公開、(2)住民参加、(3)議会機能強化、それぞれの議会改革の度合を数値化し、ランキングや分析結果、提言を出しています。

今回は全国の地方議会のうち、1,347議会が回答(回答率75.3%)、桐生市議会は前年度の148位から17位と大きくランクアップしました。

これは、常任委員会の積極的な調査活動、議会の災害対応指針の作成、政務活動費の収支報告書や視察報告書のホームページ公開、大学生や中学生の職場体験の受け入れなどの新たな取り組みが大きく評価されたものと思われます。市民の声を反映できる議会を目指し、さまざまに取り組んできた成果が、今回の数値に表れたものと理解しています。これからも「いちばん身近な頼れる議会」を目指して、よりよい仕組みづくりを進めるため議会一丸となって頑張ります。

「議会改革度調査2016」全体ランキングTOP20

順位	市議会名
1位	北海道 芽室町議会
2位	滋賀県 大津市議会
3位	三重県 四日市市議会
4位	石川県 加賀市議会
5位	福島県 会津若松市議会
6位	大阪府議会
7位	大阪府 堺市議会
8位	三重県 鳥羽市議会
9位	新潟県 上越市議会
10位	京都市会
11位	神奈川県 茅ヶ崎市議会
12位	兵庫県議会
13位	北海道 栗山町議会
14位	兵庫県 西脇市議会
15位	栃木県 那須塩原市議会
16位	東京都 町田市議会
17位	群馬県 桐生市議会
18位	茨城県 取手市議会
19位	岐阜県 可児市議会
20位	京都府 福知山市議会



職場体験受け入れ



議会報告会・意見交換会の開催



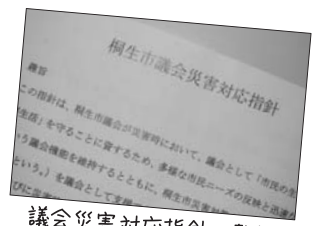
政務活動費の公開



まちづくり討論会の開催



市長に政策提言を提出



議会災害対応指針の整備

調査：早稲田大学マニフェスト研究所 議会改革調査部会



一般質問

6月29日(木)・30日(金)の2日間にわたり、17人の議員が一般質問を行い、市政に関する問題について、市当局の見解を求めました。

※氏名の下のカッコ内は所属党派名（無会派は会派に属さない議員）



北川 久人
(創志会)

太陽光発電事業

質問

当市には太陽光発電事業に対して一本化した条例等はない

が他都市の事例はどうなっているか。

答弁

県内では、前橋市、高崎市、太田市の3市が同事業と自然環境や景観などの調和に関する条例を制定している。

今後の取り組み

質問

当市が「環境先進都市将来構想」を掲げ、再生可能エネルギーの活用を推進していることは理解しているが、その一方で市民の皆様が

生活に不安を覚えるような事業や景観を著しく損ねるような事業に対しては、規制や指導をする必要があると考える。今後は他都市の事例を参考に当市独自の条例制定について調査していきたい。



山紫水明な桐生市

生活に不安を覚えるような事業や景観を著しく損ねるような事業に対しては、規制や指導をする必要があると考える。今後は他都市の事例を参考に当市独自の現状に合わせた条例などで一本化したものをつくり、環境先進都市と安全安心な暮らしや美しい景観との調和を目指して規制していくべきと考え、市の見解は。

答弁

住宅

成工事規制区域内の事業計画は、技術的基準に沿った造成を指導していることから、安全安心のため

の規制には対応していると理解している。今後は、当市の現状に合わせて環境先進都市と美しい景観などの調和を目指し、他市の事例などを参考に当市独自の条例制定について調査していきたい。



久保田 裕一
(そうそう未来)

スポーツ施設整備

質問

新里地域懇談会で提案があった、清掃センター隣接地へのスケートセンター設置について当局の見解は。

答弁

現状においては、ごみの搬入量の減少により余熱利用の電力や熱源が減少傾向であり、また、分担金を支出しているみどり市、伊勢崎市との協議が必要なほか、

ごみの搬入量が少ない2月に焼却炉と発電機を停止した点検整備を実施するため、スケートセンター繁忙期の2月に余熱利用ができないなど多くの課題があるが、設置の可能性については、今後の清掃センターの状況を踏まえながら、研究していきたい。

小学校の特別支援学級

質問

特別支援学級の児童が協力学級に所属する際の出席番号順について、各校で対応が分かれており、当市として統一することが必要と考えるがどうか。

答弁

出席番号順の対応を統一することについては、特別支援学級に在籍する児童の実態が様々であり、統一した対応は難しいと考える。そのため、名簿作成時には保護者と学校とで事前に相談し、保護者の意向を取り入れながら、児童がよりよい学校生活を送れるよう各学校へ再度指導していきたい。



桐生スケートセンター

指導していきたい。



始 原井 浩 (クラブ21)

教員の過重労働

質問

文部科学省が公表した教員勤務実態調査結果は、公立の小・中学校教員の平日の勤務時間が11時間を超え、教員の多くが「過労死ライン」を超えているという深刻な内容であった。この要因をどのように捉えているか。

答弁

調査では、10年前の同調査と比較して、持ち帰り業務時間が若干減少したものの、学校内の勤務時間は小・中学校ともに増加し、業務内容別では、授業と授業準備、学年・学級経営に係る業務、成績処理、部活動などで増加している。これらの要因としては、情報管理の徹底から仕事を持ち帰りにくくなったことや、土日の部活動指導の増加が考えられる。

質問

教員の負担軽減は将来に向けた喫緊の課題であると考えますが、部活動外部指導員や教師業務アシスタントの導入についての見解は。

答弁

教育委員会では、運動部の中で指導教員の不足している種目における技術指導の支援を目的に、年間20日間指導できる外部指導者の委嘱を行っている。部活動指導員については、国や県の動向を見ながら研究していきたい。また、教師業務アシスタントの導入についても、必要性を含め学校現場とも協議し、学校に対する有効な支援体制を考えていきたい。



授業の様子



人 藤 英 工 (創志会)

公園の維持管理

質問

千葉県柏市で実施している「公園里親制度」のように「身近な公園は自分たちの手で」の考えから、市民がトイレ掃除など公園の環境美化や、遊具の点検、異常箇所の情報提供を行うなどのボランティア活動の取り組みを、今後、桐生市でも導入する考えは。

答弁

将来は、現在の様な身近な公園の維持管理手法を継続していくことが、難しくなることも予想されるので、地元の人々の役割分担なども含め、当市に適した管理手法を



市内の公園

研究したい。

自治体クラウドファンディング

質問

自治体クラウドファンディングとは、自治体が関与する事で信頼性が確保されるため、より地域に密着した事業・サービスに限定した資金調達が可能となるが、この自治体クラウドファンディングを活用し、例えば桐生織のゆかた帯の商品開発など地元産業の促進を図る考えは。

答弁

他の自治体の先進的な取り組みなども参考に、企業ニーズを把握し、関係部局とも協議を行いながら、クラウドファンディングを活用した産業振興施策について、研究したい。



肇 山之内 (公明クラブ)

「健幸」に暮らせるまちづくり

質問

健康寿命を伸ばす「健幸なまち」を実現するための取り組みを強化すべき。その中で「健幸ポイント制度」によるインセンティブの付与が健康づくりの動機付けになったとの検証結果もあり有効性を強く感じる。高齢化の更なる進行という確実な未来を迎える当市だからこそ、こうした施策に積極的に取り組むべく、制度の創設を強く望むが見解は。

質問

健康寿命を伸ばす「健幸なまち」を実現するための取り組みを強化すべき。その中で「健幸ポイント制度」によるインセンティブの付与が健康づくりの動機付けになったとの検証結果もあり有効性を強く感じる。高齢化の更なる進行という確実な未来を迎える当市だからこそ、こうした施策に積極的に取り組むべく、制度の創設を強く望むが見解は。

答弁



参加者が体操に元気

答弁

当市の実情にあつた、市民にとって魅力的な健康づくり事業のあり方や、費用対効果も十分考慮し、具体的な体制づくりや計画の作成に努め研究を続けたい。

質問

市民の健幸づくりに力強くサポートすることを旨とし、公民連携の強化による健康施策の更なる充実を推進するべきと考えるが見解は。

答弁

民間企業参入による事業展開は、民間のノウハウとブランド力により費用対効果が大きく魅力的な事業が提供され、他自治体でも成果を得ていると認識している。今後、身近な民間企業等との相互の連携・協力体制をさらに深め、民間の健康プログラムを導入し成功している先進事例を踏まえ、研究を継続してまいりたい。

その他の質問項目

◆公民連携の強化による、公園という公的資産の新たな活用



正 男
(そうぞう未来)

胃がん検診

質問

胃がんの原因となるピロリ菌を検査し、胃がんのリスクを早期に取り除く事業が全国の自治体で始まっている。当市は、子育て日本一を目指してさまざまな取り組みを行っているが、胃がん予防という「子供たちへの将来の贈り物」として中学生のピロリ菌検診・除菌を実施することについて市の考えは、

答弁

若年層でのピロリ菌の除菌は、薬剤の副作用や免疫への影響を考えると慎重に対処する必要がある。当市では現在、中学生を対象とするピロリ菌検診を実施していないが、今後とも厚生労働省等の動向に注視していきたい。

堀マラソン



堀マラソン

質問

一般の部男子5キロ・10キロの記録は、49歳以下、50歳以上で順位が発表されるが、自分の年齢等での順位を知りたい人は多いと聞いている。年齢別、年代別順位を発表することについて市の見解は、

答弁

技術的、費用的にも可能であるが、年齢の公表は、プライバシーに配慮した形での対応が必要であるため研究していきたい。また、今後は、スポーツ体育課まで電話で問い合わせ頂ければ、年代別、年齢別の順位をお知らせできるようにしたいと考えている。



田 基 博
(創志会)

桐生版 CCRC構想

質問

当市の高齢化率は平成元年に13%程度であったが今では34%を超えている。「まち・ひと・しごと

創生総合戦略」における

「高齢者になっても安心して暮らせるまちづくり」の推進の中で、

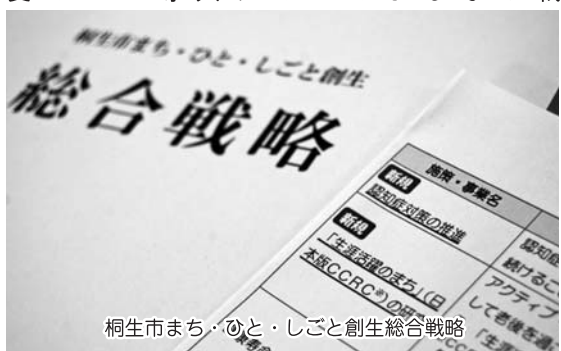
大都市からのアクティブシニアの受け入れや、介護等

が必要になった場合でもコミュニティの

中でケアを受けながら暮らせるまちづくりについての研究の進捗状況と目標については、

答弁

生涯活躍のまち(日本版CCRC)の研究の現況については、「だれもが、健康時から介護時、終末期まで、地



桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略

域で安心して住み続けることができるまちづくり」という観点から、国や先進他都市の状況等を情報収集し研究を進めている。

当市では、生活支援体制整備事業や各種介護予防事業など、高齢者支援や健康づくりの観点からその支援にまい進しているが、大都市からの中高年層の移住については、

医療や介護の量的

確保や介護労働者

の確保、

住宅や都市計画な

ど、まちづくり全

体に関係

するため、

今後、高齢者施策

推進協議会での検討のほか、

庁内関係各部署で連携を図りながら研究したい。

○その他の質問項目

- ◆小中学校いじめ対策
- ◆特色のある教育の実施



渡 辺 恒
(日本共産党議員団)

公共施設等総合 管理計画

質問

公共施設の長寿命化を実施することで、更新費用が削減できると考えるが、実施について市の見解は、

答弁

施設の長寿命化については、本計画の第3章の中で、「長寿命化の実施方針」として、総合的かつ計画的な管理に基づいた予防保全を実施し、長期使用を図る旨を記載している。今後策

定する施設類型ごとの個別計画で可能な限り明らかにしていくが、総量を削減する中で、存続させるべき施設は、選別して大規模改修又は長寿命化など必要な措置を図ってまいりたい。

質問

計画策定時、市民の声をどのようにに反映させたか。また、公共施設の市民による意思決定を今後どのように考えているのか。

答弁

計画策定にあたっては、住民基本台帳から無作為抽出した15歳以上の市内在住者2000人を対象にアンケートを実施した。このアンケート結果と計画の内容が整合したものとなるよう十分に配慮してきた。また、計画の行方に関するパブリックコメントも実施した。今後、施設によっては当該施設の利用者や施設が立地する地域の考え方を把握しておくことも必要になると思われるので、個別計画の策定における市民意見の反映方法についても検討したい。



桐生市公共施設等総合管理計画



田島 忠一
(そうぞう未来)

特別職報酬等 審議会

質問 どのような組織か。

答弁 特別職の報酬等の額の改定にあたり第三者機関の意見を聞くために、自治体が条例で設置している附属機関である。

審議会は、市長の諮問に応じ、議会の議員の議員報酬及び政務活動費の額並びに市長、副市長及び教育長の給料の額について審議し、その結果を市長に答申を行うもの。委員構成は、桐生市内の公共的団体等の代表者や公募により、10人の組織となっている。

質問 どのようなときに開催されるのか。

答弁 平成9年開催の審議会までは、概ね2年ごとに開催していたが、平成13年開催の審議会において、据置き答申がされた後

は、平成23年まで開催はなかった。

なお、平成23年の答申の附帯事項で、「今後は、このように長い期間にわたって開催されないことのないよう要望する。」とされたことから、今回、特別職の任期にあわせて開催する。

質問 一般市民の傍聴は可能なのか。

答弁 平成23年の審議会では、傍聴ができるような形で開催した。

○その他の質問項目

◆桐生が岡動物園

◆野良犬、野良猫の殺処分について

◆低栄養について



桐生市役所



人見 武男
(創志会)

学校の太陽光発電

質問 太陽光発電設備が設置された学校施設は災害時の避難施設となっているが、災害により電気が途絶えた場合は、この設備の電気を使えるのか。

答弁 現在の契約では、災害時に太陽光発電の電気が施設に供給されることになっておらず、電気を施設に供給できる設備になっていない。電気の供給を可能にするためには、新たな工事が必要となるため、今後は太陽光発電の電気を供給できるように検討をしております。



学校の太陽光発電設備

ペットの死体の処理方法

質問 高齢者等はペットの死体を清掃センターに持ち込むことが困難であるが、市の対応及び周知はどのようにしているか。

答弁 飼い主から依頼があった場合、直接職員が飼い主の自宅に伺い、有償にて戸別回収を行っている。清掃センターへの持ち込みについては、ごみカレンダーやホームページで周知しているが、戸別回収についてはペット霊園などでの火葬を希望される飼い主が多いことなどから、特段の周知は行っていない。今後は飼い主のご意見、ご要望を踏まえ、周知方法について検討してまいります。

○その他の質問項目 ◆防災意識の向上



小滝 芳江
(クラブ21)

住民票等のコンビニ交付

質問 マイナンバーカードを活用した住民票等のコンビニ交付の導入予定について、当局の見解は。

答弁 導入により各世帯が見込まれるが、現在はさまざまな角度から調査・研究を行っている状況であり、導入の具体的な時期については現段階では未定となっている。



市民課

市職員の女性管理職

質問 当市職員の女性管理職の目標と現状は。

答弁 平成28年3月に策定した桐生市特定事業主行動計画において、平成32年度までに消防職員、商業高校教員を除く、係長以上の女性職員の割合を30%以上としており、現況は平成29年4月1日現在で21・8%となっている。

女性管理職の育成方法

質問 女性職員が活躍できるように市としてどう取り組むのか。

答弁 今後とも管理職育成のための研修に女性職員を積極的に派遣するとともに、育児休業から職場復帰時の支援体制、女性管理職との意見交換会やキャリアデザイン研修等を行い、管理職となることへの意欲向上を図ってまいります。



飯島英規 (無会派)

球都桐生活活性化プラン

質問 過去に提案を受

けた学校跡地を利用したベースボールパーク計画について、再度提案を受けの考えはあるか。

答弁

前回提案のあった計画のみならず、まちの活性化に繋がる提案については、可能な限り意見や提言として伺う機会を設けてきた。今後もしそのような提案があれば、同様に対応していきたいと考えている。

除草剤の危険性と対策

質問

一般的に市販されている除草剤についての考え方や市民への啓発、また、公園等の公共施設や学校施設における除草剤の使用状況と方向性は。

答弁

除草剤を含む農薬は、農薬取



桐生球場

準中型運転免許取得助成

質問

道路交通法の改正により、普通車の運転免許証では、分団の消防ポンプ自動車や運転できないが、準中型運転免許を取得するための助成をする考えは。

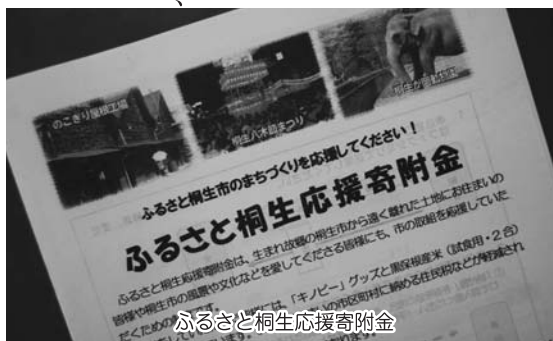
答弁

今回の免許の免許制度改正による対応は、今後の消防団運営に係る重要な課題であり、消防団員の確保上、考慮も必要であり、他市の対応状況を参考にしながら研究したい。

ふるさと納税

質問

本来の制度趣旨を鑑みて、ふるさを



ふるさと桐生応援寄附金



新井達夫 (そうそう未来)

とを良くするための寄附となるよう、市として国に働きかける考えは。

答弁

平成28年5月に総務省が実施した、各自自治体におけるふるさと納税の現況に関する調査において、「本来の制度趣旨に沿った運用となるような税制措置」が図られるよう要望した。その後も、返礼品競争がエスカレートする中で、徐

質問

々にこうした状況への批判も高まり、平成29年4月1日に、総務省より各地方公共団体に対し「改めて、制度の趣旨に沿った責任と良識ある対応を徹底するよう」との通知が出るに至った。市としては、引き続き良識ある対応を心がけ、今後必要があれば、国等に対し更に意見を述べていきたい。

猫の適正飼養

質問

猫に関する市民からの苦情や対策要望は。

答弁

平成28年度に県1東部出張所に寄せられた猫の苦情は210件あり、当市への苦情や対策要望は61件だった。

質問

今年3月に県が策定した「飼い猫の適正飼養及び飼い主のいない猫対策ガイドライン」の周知方法は。

答弁

県はホームページで周知を行っている。市としては、市民からの相談時に県が推奨



周東照二 (公明クラブ)

する猫の適正飼養の基準やルールを参考に説明するなど、活用を始めた。今後は、ガイドラインの周知も進めていきたい。

質問

ポイ捨て等防止条例を改正し、公共の場での餌やりを「動物の餌を放置するポイ捨て等の行為」と定義し、また飼い猫のふんを回収し持ち帰ることを飼い主等の責務とすることで、猫の適正飼養が進むと期待するが、当局の見解は。

答弁

猫は飼い主の特定が難しく、条例が形骸化してしまうおそれがあるため条例策定時には盛り込まなかった。しかし、飼い猫の適正飼養は、市民の快適な生活環境を維持していくために大変重要と認識しており、今後、野良猫と飼い猫の区別をつけることや室内飼いを推奨するなど、広報等により周知啓発を行っていき



平成29年3月 群馬県

たい。



岡部 純朗 (そうぞう未来)

体育館新設

質問 現在設計中である相生の新体育館の建設場所はどこになるのか。

答弁 新体育館は現在の附属球場A Bの場所に建設する予定となっており、野球やソフトボールで使用されている現在の付属球場の機能は、運動公園内に残せるよう検討を進めている。

質問 ソフトボール専用球場はどこになるのか。

答弁 今後、ソフトボール関係者と相談し、検討してまいりたい。

アスベスト

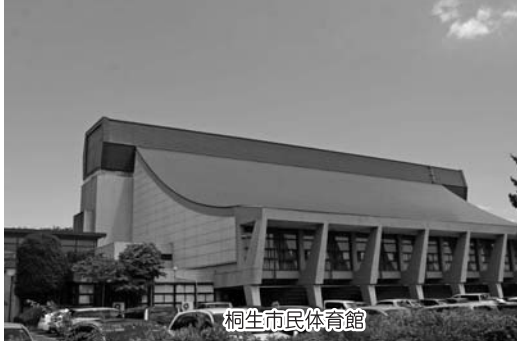
質問 アスベストを含有した吹き付け材がまだ残っている市有施設はあるのか。

答弁

境野水処理センターの機械棟においてまだ残っているが、その他の施設は、利用者が立ち入る場所のアスベストの含有調査及び対策工事は完了している。なお、天井裏等、通常、利用者が立ち入ることがなくアスベストを吸い込むおそれがない場所の調査は実施していないが、これらの場所については、解体工事や大規模改修工事等の際に調査を行い、適切な措置を講じたいと考えている。

○その他の質問項目

◆放課後児童クラブについて



桐生市民体育館



関口 直久 (日本共産党議員団)

長尾根峠

質問 川内町とみどり市大間々町を結ぶ重要な道路である長尾根峠は、平成25年10月から全面通行止めとなり、関係する地域の方々から早く開通をと望む要望が出されている。平成29年度末の開通予定と聞いているが、今年度の完成に向け、当局としてどう取り組んでいくのか。



長尾根峠

答弁 今年度の交付金事業費は、予算額1億2000万円に対して交付決定額が9600万円と8割程度の内示となっているため、現段階では車道部と歩道部のアスファルト舗装工が残る

こととなる。工事完成に向け、国の補正や県内他市の事業間流用を含め、国県に対し今後も強く要望し財源確保に努めていきたい。

集会所の利用向上

質問 集会所入口(桐生地域)の段差を解消し、車イスなどでの利用向上に向けた当市の取り組みについて。

答弁 集会所は、地域に利用していただく必要がある施設であり、地域の方が集い親しまれているコミュニティの拠点である。今後は、各集会所の状況を把握し、公共施設等総合管理計画を踏まえつつ、関係部局等とバリアフリー化の方針や基準について検討していきたい。

市税納付について



伏木 康雄 (無会派)

質問

クレジットカードによる市税の納付について、県内では前橋市、高崎市、伊勢崎市がクレジットカードによる市税納付を導入しているが、当局においてはどのような検討をしているのか。また、導入に向けた考え方は。

答弁

当局では平成20年4月から、コンビニでの納付、また、イ



納税課

ンターネットバンクやATMから納付ができるペイジー納付を導入しており、その際、クレジットカードによる納付についても検討した経緯がある。当時については、クレジットカードでの納付に対する需要が多くは見込めなかったことや、口座振替などに比べ、取扱手数料が格段に高かったことから導入には至らなかった。その後、県内では、前橋市、高崎市、伊勢崎市の3市が取扱い手数料の一部を納税者負担で開始したため、導入後の利用状況や収納率の向上効果等について動向を注視しているところである。3市の状況を見ると、収納割合は0.2%から0.4%で推移しており、利用はそれほど進んでいないように見受けられるため、導入については費用も多くなることから、必要性を見極め、多くの市民・納税者にとって利便性の高いものであるか等関係部局と連携して引き続き研究してまいりたい。

議案番号・議案		議員氏名																	結果							
		工藤英人	園基博	飯島英規	伏木康雄	渡辺恒久	関口直久	北川久人	人見武男	久保田裕一	辻正男	田島忠一	新井達夫	山之内肇	周東照二	佐藤光好	佐藤幸雄	森山享大	福島賢一	岡部純朗	河原井始	周藤雅彦	小滝芳江			
市 長 提 出	議案第36号	財産取得(分団用消防ポンプ自動車)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第37号	財産取得(高規格救急自動車及び高度救命処置用資機材)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第38号	桐生市桐生武井西工業団地地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第39号	桐生市子どものための教育・保育の利用者負担額等に関する条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第40号	平成29年度桐生市一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第41号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第42号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第43号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第44号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第45号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第46号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第47号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第48号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第49号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第50号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第51号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第52号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議案第53号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第54号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第55号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	
議員提出	議第6号議案	地域政策及び議会改革調査特別委員会設置に関する決議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	
	議第7号議案	地方財政の充実・強化を求める意見書案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	

暑中見舞い申し上げます

議員の暑中見舞状・寄附などは法律で禁止されています。

公職選挙法により、議員は次のことを禁止されています。市民の皆さんのご理解をお願いします。

- ◎暑中見舞状などの挨拶状を出すこと。
- ◎寄附をすること。
- ◎本人が出席しない慶弔に祝儀や香典を出すこと。

全員協議会

7月21日(金) 開催

桐生市新生総合計画改定案(行政案)について

市議会は、7月21日(金)に全員協議会を開催し、桐生市新生総合計画改定案(行政案)について、当局からの報告を受けました。

報告の内容は、計画改定に係るこれまでの取り組み経過、今後の予定、計画期間の2年延長に伴う変更点などを示したものでした。

意見書

地方財政の充実・強化を求める意見書

地方自治体は、子育て支援策の充実と保育人材の確保、高齢化が進行する中での医療、介護などの社会保障への対応、地域交通の維持など、果たす役割が拡大する中で、人口減少対策を含む地方版総合戦略の実行やマイナンバー制度への対応、大規模災害を想定した防災・減災事業の実施など、新たな政策課題に直面しています。

一方、地方公務員をはじめとした公的サービスを担う人材に限られる中で、新たなニーズへの対応と細やかな公的サービスの提供が困難となっており、人材確保を進めるとともに、これに見合う地方財政の確立を目指す必要があります。

こうした状況にもかかわらず、社会保障と地方財政を二大ターゲットとした歳出削減に向けた議論が加速しています。

本来、必要な公共サービスを提供するため、財源面を担保するのが地方財政計画の役割です。しかし、財政再建目標を達成するためだけに歳出削減が行われ、結果として不可欠なサービスが削減されれば、本末転倒であり、国民生活と地域経済に疲弊をもたらすことは明らかです。

このため、2018年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、国民生活を犠牲にする財政とするのではなく、歳入・歳出を的確に見積もり、人的サービスとしての社会保障予算の充実と地方財政の確立を目指すことが必要です。このため、政府に以下の事項の実現を求めます。

記

1. 社会保障、災害対策、環境対策、地域交通対策、人口減少対策など、増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、これに見合う地方一般財源総額の確保を図ること。
2. 子ども・子育て支援新制度、地域医療の確保、地域包括ケアシステムの構築、生活困窮者自立支援、介護保険制度や国民健康保険制度の見直しなど、急増する社会保障ニーズへの対応と人材を確保するための社会保障予算の確保と地方財政措置を的確に行うこと。
3. 災害時においても住民の命と財産を守る防災・減災事業は、これまで以上に重要であり、自治体庁舎をはじめとした公共施設の耐震化や緊急防災・減災事業の対象事業の拡充と十分な期間の確保を行うこと。
4. 地方財政計画に計上されている「歳出特別枠」「まち・ひと・しごと創生事業費」等については、自治体の財政運営に不可欠な財源となっていることから、現行水準を確保すること。また、これらの財源措置について、臨時・一時的な財源から恒久的財源へと転換を図るため、社会保障、環境対策、地域交通対策など、経常的に必要な経費に振り替えること。
5. 地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化を図り、市町村合併の算定特例の終了を踏まえた新たな財政需要の把握、小規模自治体に配慮した段階補正の強化などの対策を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

提出先 ○内閣総理大臣 ○総務大臣 ○財務大臣

各種委員

議会選出の各種委員について、次のとおりとなりました。

※選出依頼に基づき選出

◇桐生地域医療組合議会議員

【議会の議員】

佐藤光好 辻正男 渡辺恒

人事案件

市議会は、次の人事案件15件に同意しました。

監査委員(新任)	周藤雅彦	山形英隆氏	山岸照司氏	周東俊二氏	榑子俊夫氏	鎌田大輝氏	井田一夫氏	石関一夫氏	農業委員会委員(新任)
	山内典子氏	矢野鉄昭氏	星野昭美氏	坂本久美氏	川口賢一氏	今泉芳雄氏	井田秋雄氏		

表彰されました

5月24日に開催された「第93回全国市議会議長会定期総会」において、森山享大議長、福島賢一副議長、河原井始議員が、議員として10年以上その職にある者として一般表彰を受賞されました。また、佐藤光好議員が議員として30年以上その職にある者として特別表彰を受賞されました。

なお、森山享大議長には全国市議会議長会評議員として顕著な功績が認められ、全国市議会議長会会長から感謝状の贈呈がありました。



佐藤議員



森山議長(中)、福島副議長(左)、河原井議員(右)

議長記者会見



6月28日に森山議長による記者会見を開催しました。会見では、水質調査特別委員会並びに地域政策及び議会改革調査特別委員会の設置について発表しました。なお、各特別委員会の委員の構成については、下記のとおりです。



特別委員会 設置

この定例会では、合併及び地域政策調査特別委員会の最終報告が行われ、承認されるとともに、水質調査特別委員会の中間報告が行われました。

また、地域政策及び議会改革調査特別委員会の設置に関する決議案が議員より提出され、全員賛成で可決し、同特別委員会が設置されました。

2つの特別委員会の新しい構成は、次のとおりとなりました。

水質調査特別委員会

◎調査事項

1. 渡良瀬川及び桐生川並びに市域内河川の環境・水質保全について
2. 山元（古河）対策について

◎委員構成

委員長／新井達夫	伏木康雄
副委員長／山之内肇	久保田裕一
委員／工藤英人	森山享大
関口直久	河原井始
佐藤光好	
岡部純朗	
周藤雅彦	

地域政策及び議会改革調査特別委員会

◎調査事項

1. 人口減少問題について
2. 広域連携について
3. 議会改革について
4. 幹線道路の整備について
5. 公共交通の確保について

◎委員構成

委員長／小滝芳江	飯島英規
副委員長／人見武男	北川久人
委員／園田基博	田島忠一
渡辺恒	佐藤幸雄
辻正男	
周東照二	
福島賢一	

市民の皆様におかれましては、平素より議会活動に関しまして、ご理解とご支援をいただいておりますことに、心より御礼を申し上げます。我々、桐生市議会は市民の皆様から頂戴した議員としての職責を全うするため、日々、議会改革に取り組んでおります。その結果、全国17位、県内では4年連続トップという高い評価をいただくことができました。今後も議員22名と事務局一丸となって「いちばん身近な頼れる議会」をモットーに掲げ、地方創生時代に相応しい議会として、桐生市の持続的発展のため、専心努力を傾注して参る所存です。今後ともご支援をよろしくお願いいたします。



森山 享大 議長

ごあいさつ

市民の皆様におかれましては、日頃より議会傍聴、議会報告会等、議会に対するご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

議長が強い意志を持って取り組んでおります議会改革を更に推進し、市民の皆様と共に歩む議会を目指してまいりたいと思います。

関東市議会議長会会長並びに群馬県市議会議長会会長と名誉ある要職に就任されました議長をお支えし職務に傾注して参りますので、よろしくごお願い申し上げます。



福島 賢一 副議長

桐生市議会

検索

<http://www.city.kiryu.lg.jp/shigikai/>

